

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
幼児と言葉特論Ⅱ		池田 悠子	講義	2	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	ことばの実際の指導を学ぶ。ことばはコミュニケーションのツールであり、思考を育てるものであるという観点から多文化共生社会に移行する現代の多様な現実を知る。会話の難しい子どもたちのことばを育てるさまざまな状況も理解する。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	5領域の「言葉」	5領域の「言葉」とは			
2	5領域をどう理解するか	輪読・音読による問題点の解決			
3	言葉の実際の指導（1）	乳幼児期の言葉の指導理論			
4	言葉の実際の指導（2）	乳幼児期の言葉の指導理論			
5	言葉の実際の指導（3）	乳幼児期の言葉の指導理論			
6	言葉の実際の指導（4）	乳幼児期の言葉の指導理論			
7	ケアテーカーのことば	言葉をかけることの意味・役割			
8	言語障害	言語コミュニケーションが難しいケース（1）			
9	会話の難しい幼児	言語コミュニケーションが難しいケース（2）			
10	異文化の子ども	言語コミュニケーションが難しいケース（3）			
11	子どもの心に気づく（1）	社会は子どもの心と言葉をおきざりにしてはいけない（1）			
12	子どもの心に気づく（2）	社会は子どもの心と言葉をおきざりにしてはいけない（2）			
13	子どもの心に気づく（3）	社会は子どもの心と言葉をおきざりにしてはいけない（3）			
14	子どもの心に気づく（4）	社会は子どもの心と言葉をおきざりにしてはいけない（4）			
15	諸外国の言語指導の状況	アメリカ、フランスなどはどのように言葉を育てているか			
参 考 書	村石昭三・関口準編『領域言葉』同文書院				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	研究する態度、考察する視点を高める。				
評価の方法と時期	平常点＋論述試験。				